

西南学院コンサート チャペルコンサート2017
宗教改革500周年記念コンサート

神はわがやぐら

Ein feste Burg ist unser Gott

～ヴォーカル・アンサンブル & パイプオルガン～

ルター派教会音楽の傑作集

2017年10月29日[日] 15:00開演(14:30開場)

西南学院大学チャペル

出演

ヴォーカル・アンサンブル / エリザベト シンガーズ (広島)

パイプオルガン / 塚谷 水無子

指揮・監修 / 安積 道也 (西南学院音楽主事)

「神はわがやぐら」

(M.プレトリウス)

「何故悩み苦しむ人に光が与えられたのか」

作品74-1 (J.ブラームス)

「目覚めよ、と呼ぶ声がある」

(J.S.バッハ / H.ディストラー)

「新しい歌をわれらは歌う」

(V.イェッケル) 他



指揮・監修
安積 道也



パイプオルガン
塚谷 水無子



ヴォーカル・アンサンブル
エリザベト シンガーズ



入場料 一般 2,500円(前売り2,000円) 学生 500円(一律) 全席自由(未就学児の入場はご遠慮ください)

お問い合わせ・
チケット取扱い

TEL: 092-823-3274

(株)キャンパスサポート西南 URL: <http://www.cs-seinan.co.jp>
〒814-0006 福岡市早良区百道1丁目14-29

主催: 西南学院

後援: 福岡市、(公財)福岡市文化芸術振興財団、
朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、西日本新聞社

西南学院コンサート チャペルコンサート2017
宗教改革500周年記念コンサート

神はわがやぐら

Ein feste Burg ist unser Gott

～ヴォーカル・アンサンブル & パイプオルガン～

ルター派教会音楽の傑作集



宗教改革者マルティン・ルターは、自ら賛美歌(コラール)を作り定着させた人物としても知られ、彼のコラールは後の作曲家達に大きな影響を与えました。バッハをはじめ、メンデルスゾーンやブラームスなど名だたる音楽家たちが、これらのコラールを用いて、高い芸術性と深い精神性を有する作品を数多く残しています。

本公演では、各作曲家の人生観や信仰心が色濃く表れた名作の数々を演奏します。合唱作品では、2017年1月ヘンデル『メサイア』全曲演奏の名演が記憶に新しいヴォーカル・アンサンブル「エリザベト シンガーズ」による最高難易度のアカペラ作品を、また、オルガン演奏では、2015年「バッハ〜アラ・カルト〜」で喝采を博した塚谷水無子氏によるオルガンのためのコラール作品をお楽しみいただきます。



指揮・監修

安積 道也

Michiya Azumi

フライブルク国立音楽大学にて指揮科を最優秀で修了。ドイツ国家資格教会音楽家最高位(A級カントール)取得。2004年第1回パイロイト合唱指揮者コンクール優勝。在独中、ギェンタースタール聖マリア教会音楽監督とフライブルク独仏合唱団常任指揮者を兼任。

2009年より西南学院音楽主事。様々な楽器とオルガンのコラボレーションやオラトリオ作品に特化した合唱団の設立(バッハ『マタイ受難曲』、ブラームス『ドイツ・レクイエム』など演奏多数)、多くの名作を九州で初演するなど、地元音楽文化振興の一翼を担う。オルガニスト、指揮者、コンクール審査員、講習会講師として国内外で幅広く活動している。西南オラトリオ・アカデミー常任指揮者。エリザベト音楽大学非常勤講師。新福岡古楽音楽祭「合唱セミナー」講師。キリスト教礼拝音楽学会役員。



パイプオルガン

塚谷 水無子

Minako Tsukatani

東京藝術大学楽理科卒業後オランダへ。アムステルダム音楽院、デンハーグ王立音楽院修士課程を首席で卒業。ドイツ・バロックのスペシャリストとして、堅実な技術力と音楽性で評価が高い。11枚目のCD《トッカータとフーガ〜バッハ・オルガン作品集第2集》(キングレコード)が2017年9月リリース。CDショップ大賞推薦盤に選ばれた《バッハ・オルガン作品集》(同)はじめ、《ぬんこむ Nun komm, der Heiden Heiland》(「レコード芸術」特薦盤)、日本人初のパイプオルガンによる《ゴルトベルク変奏曲》、ウクライナの作曲家シルヴェストロフのピアノ作品集《涙のバガテル》(以上Pooh's Hoop)と話題が尽きない。《聖なるパイプオルガン》《愛と祈りのパイプオルガン》《癒しのパイプオルガン》(キング)他。著書に「ゴルトベルク変奏曲を聴こう!」(音楽之友社)。NHKFM番組出演や日経はじめ国内外の新聞雑誌インタビュー多数。

<http://www.minakotsukatani.net>

ヴォーカル・アンサンブル

エリザベト シンガーズ

Elisabeth Singers

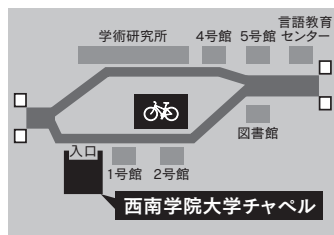


エリザベト音楽大学付属室内合唱団「エリザベト シンガーズ」は、フィンランドを代表する合唱指揮者のティモ・ヌオランネ氏を迎えて2002年7月に設立。2006年以降は松原千振、藤井宏樹、片山みゆき、本山秀毅、松下耕の各氏を迎え、

定期的に演奏会を開催している。これまでにポーランド、ドイツへの演奏旅行や、イギリスのヒリヤード・アンサンブルと広島にて共演。また、学校等の教育機関における音楽教室や慰問演奏を積極的に行っている。本年1月には西南学院チャペルコンサートにおいて安積道也氏の指揮の下、ヘンデル『メサイア』を全曲演奏し高い評価を得ている。CD録音としては『カルミナ・セークリ Carmina Saeculi ~ヨーロッパ合唱音楽100年の旅~』(2004年)、「主の祈り 高田三郎 混声合唱のための典礼聖歌」(2012年)、「聖週間の典礼 高田三郎 混声合唱のための典礼聖歌II」(2015年)。「イエスのみ心 高田三郎 混声合唱のための典礼聖歌III」(2017年)

ACCESS

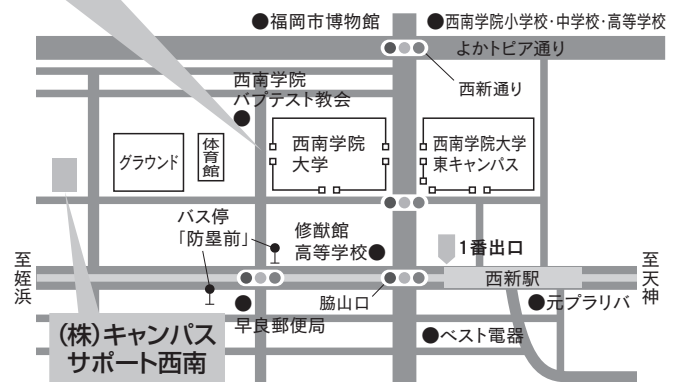
※駐車場がございませんので公共交通機関をご利用下さい。



会場への交通案内

(西南学院大学チャペル)

- 福岡空港～西新駅下車…約17分
- 博多駅～西新駅下車…約12分
- 天神～西新駅下車…約8分
- ※地下鉄西新駅1番出口から徒歩10分
- 博多駅バスセンター～防曇前…約35分
- 天神～防曇前…約20分
- ※防曇前バス停から徒歩5分



今後のコンサート

2018.1.27(土) パイプオルガンコンサート2018

オルガン演奏：安積道也(西南学院音楽主事)